# 什事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成•更新日 令和6年8月6日

事業名 まちなみ景観形成推進事業 -般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当あり スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 都市建設部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般事業計画 担当組織 課 都市計画課 予算 款 8 新規or継続 継続事業 まちなみ景観形成推進事業費 係 計画係 科目 項 4 市単独or国県補助 市単独事業 531 名称 根拠法令、条例等 1 義務or任意 任意的事業 体系コード 日 基本目標 5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり 事業 開始年度 R5 実施方法 直営 政策体系 景観法、佐野市水と緑と万葉 期間 終了年度 現金等給付事業 政策 3 都市機能の充実したまちづくり 事業分類 のまち景観条例・規則 施策 1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 |佐野市水と緑と万葉のまち景観計画で指定した景観形成重点エリアにおいて、魅力的なまちなみ景観の形成を創出する取組に対し、補助金を交付する。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 日的 補助金交付合計金額 千円 500 500 1,000 景観形成重点エリアに位置付けた駅前通り沿線ゾーン、桐生岩舟 (本事業に 補助申請件数 件 2 線沿線ゾーン、市道1級1号線ゾーンにおいて、良好な景観形成に よって成し 遂げたい 要する取組に対し、補助金を交付する。 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 R5 活動指標 R4 補助を受けた建築物や工作物の数 件 0 ·R5.9.26 佐野市まちなみ景観形成推進事業費補助金交付要綱制定 活動実績 ・R5.10.1 同条例及び同交付要綱施行 (R5年度に ·R5 12 21 行った主な活 0 0 事業費計 0 千円 県道桐生岩舟線整備に関する説明会において、本制度を周知 動内容) ・随時 市公式ホームページにより本制度を周知 一般財源 千円 0 千円 特定財源(国・県・他) 0 (うち受益者負担) 千円 0 (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 し選択して下さい 指標の性質 R4とR5の比較 単位 R4 R5 効果指標 効果は変わらない 千円 0 値が大きいほど良い 補助金交付合計金額 効果説明 補助申請件数 件 値が大きいほど良い 効果は変わらない 令和5年度は、本補助金の交付申請がなかった。 (定量及び 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がつ 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 効果は変わらない 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 ・まちなかの賑わいを創出するための方策の一環として、引き続き本補助制度を活用し、魅力あるまちなみ景観の形成を図っていく。 ・本補助金を活用した景観形成が図られるよう、更なる周知を図っていく。

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) V

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業効果を上げるための事務改善の検討

事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・本補助金を活用した景観形成が図られるよう、更なる周知を図っていく。

令和6年8月8日 作成·更新日

事業名	街づくり	区画整理協	協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	-			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	<b>手</b> 報									
	部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般会計	事業計画	単年度	繰り返し
	課	都市整備課		1 住门(1)区画整理協会参画事至1	予算	款	8	新規or継続	継続	事業
	係	市街地整備	係		科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		皿	2	義務or任意	任意的	り 事業
以東体糸	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業	開始年度		実施方法	直	営
	政策	3 都市機能の充実したまちづくり			期間	終了年度		事業分類	参画	事業

## 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

### (1) 事業概要

事業概要

・公益社団法人街づくり区画整理協会は、円滑な区画整理の実施を目的とし土地区画整理事業を施行、計画している地方公共団体を会員として構成している団 体であり、円滑な区画整理事業の支援・指導・助言を行う。 会員数:529団体(R6.3.31時点)

・公益社団法人街づくり区画整理協会に会員として負担金を支出し、協会主催のセミナー等に参加する。

1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進

(2)目的

目的 (本事業に よって成し

> 遂げたい 状態)

土地区画整理事業に役立つ協会主催の実務的なセミナー等に参 加し、職員のスキルアップを図る。

(3)目標値						
効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
セミナーが役に立ったと回答した職員	%	100	100	100	100	100

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		. ,			- 1-	
活動実績 (R 5 年度に 行った主な活動内容)		活動指標	単位	R3	R4	R5
	【市の活動】 ・街づくり区画整理協会に負担金支出	会議の開催	回	6	6	6
	・セミナーへの参加	区画整理セミナー開催	回	17	18	19
	【街づくり区画整理協会の活動】	セミナー等参加回数	回	3	3	4
	・各部会の会議や区画整理セミナーの開催により、円滑な区画整 事業の支援・指導・助言を行い区画整理の手法の活用による街で	事業費計	千円	132	132	132
		一般財源	千円	132	132	132
	りを推進を図る	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

業務を遂行する上で、必要な事柄に関連するテーマのセミナーに参 加し、理解を深め業務に生かせることができた。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
セミナーが役に立ったと回答した職員	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
か田	効果が上がった指標数	0指標
効果	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き必要に応じセミナーを受講し、職員のスキルアップを図る。

(2)	上記反省占及び課題を踏まえた。	今和6年度及び今和7	生度の取組

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
事業効果を上げるための事務改善の検討

 $\checkmark$ 

取組説明

尹未の圧りが大町 (焼工、水工、竹棚成、文曲百食150元60など)
事業効果を上げるための事務改善の検討
事業費の見直し検討
業務時間効率化のための事務改善の検討
特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	都市計画	審議会運	営事業	実施計画事業or一般事業		般事業	市長公約		総合戦略	該当なし	
4 <b>1</b> 1 → 1	±±P			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般事業計画		単年度	繰り返し	
	課	都市計画課			予算	款		新規or継続	継続		
		計画係		· 都市計画審議会運営事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	単独事業	
	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意		り事業	
以束体糸▮	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市計画法、地方自治法、		開始年度	H12	実施方法		営	
	政策 施策		都市機能の充実したまちづくり 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進	佐野市都市計画審議会条     例	期間	終了年度		事業分類	審議会等	運営事業	
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値     (1) 事業概要      ・平成12年の都市計画法改正において、都市計画法第77条の2の規定に基づき、各市町村の都市計画審議会が設置された。     ・この審議会は、市長から諮問を受け、都市計画に関する事項を調査審議するため設置された附属機関である。     ・現行の委員数は15名で、学識経験者、市議会議員、関係行政機関職員及び市民で構成されている。											
(2)目的	5			(3)目標値							
-				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
( _L <del></del>			り、都市計画法に基づく計画案を調査審	案件の承認率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
tって成し.			けられている。都市計画決定等の本市都								
逐りたい		いる里安争り 1、任期4年	旬の審議の際、会長が招集する。								
状態)	·安貝13在	1、江州 + 4									
(1)活動	が 令和5年度は、次のとおり都市計画審議会を開催した。			(2)活動を説明する数値デ 活動指標 都市計画審議会の開催回数	単位回	P 未員の R3	R4 3	R5			
活動実績	_		行都市計画審議会 条例で指定する区域(案)について	審議会案件数	件	4	4	3			
R5年度に った主な活動内容)			野市都市計画審議会 マ計画の決定(フレス (末決定)	事業費計	千円	269	216	123			
±31 3 L 7		部中司 画地。 区地区計画)	区計画の決定について(市決定)	一般財源	千円	269	216	123			
			或内に設置する産業廃棄物及び	特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0			
	一般廃棄物	物処理施設の	敷地の位置について	(うち受益者負担)	千円	0	0	0			
				(力及無有其担)	113	U	- 0	0			
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して		
				効果指標 案件の承認率	単位 %	R3 100.0	R4 100.0	R5 100.0	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比効果は変わらな	
効果説明	令和5年度	は審議会を2	回開催し、3件の案件を付議した結果、い	来什の外心平	70	100.0	100.0	100.0	ED NEVISCEVI	XJX-16-92-17-5/-6	
(定量及び 定性)		どおり承認され									
Æ11.)											
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	<u>E</u> )	_						-	
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果			
効果	効果が上が効果は変わ	つに指信数 らない指標数	0指標 1指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果が下が	った指標数	0指標		用用	費用の増減無し		0			
_	<b>ぎに向けた検</b> 口5年度の事		<b>効果は変わらない</b> ける反省点、環境変化や関係者からの意見	】 見等を踏まえた検討課題、費用:		青用が増加した う上のための	)課題				

取組説明

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進

事業名	栃木県土	上地区画整	理事業連合協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	1. 基本情報									
	部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般会計	事業計画	単年月	度のみ
担当組織	課	都市整備課		栃木県土地区画整理事業連	予算	款	8	新規or継続	継続	事業
	係	市街地整備	係	合協議会参画事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		田	2	義務or任意	任意的	り事業 (
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直	営
	政策	3	都市機能の充実したまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画	事業

## 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

### (1) 事業概要

事業概要

- |・県内で区画整理事業を施行、計画している市町等を会員として構成している団体である 会員数:36団体(R6.3.31時点)
- ・栃木県土地区画整理事業連合協議会会員として負担金を支出し、総会や協議会主催の研修会・講習会等に参加する。
- ・関係団体との情報交換により土地区画整理事業を推進していく。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		研修会等役に立ったと回答した職員の割合	%	100	100	100	100	100
(本事業に	協議会主催の実務に関する研修会・講習会等に参加することにより							
よって成し 遂げたい	職員のスキルアップを図る。							
状態)								
,								

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1/11	70大惊		/人() 手来兵の正沙				
活動実績 (R5年度に 行った主な活	【市の活動】	活動指標	単位	R3	R4	R5	
	・栃木県土地区画整理事業連合協議会に負担金を支出	研修会等の開催	回	2	3	2	
		研修会等のへの参加	回	2	3	2	
	【栃木県土地区画整理事業連合協議会】						
	・土地区画整理事業の促進に対する協力及び土地区画整理事業に関する研修等の開催。	事業費計	千円	8	8	0	
<b>3</b> ), 10,		一般財源	千円	8	8	0	
	※R5年度の事業費は徴収なし	特定財源(国·県·他)	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

協議会主催の実務に関する研修会等に参加することにより、理解を深め業務に生かせることができた。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修等役に立ったと回答した職員の割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
が田	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果							
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった					
費	費用は下がった								
	費用の増減無し		0						
用	費用が増加した								

### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き研修会に参加し、土地区画整理事業の実施に必要な知識や技術等をみにつける。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた。	令和6年度及び令和7年度の取締	H

事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	業の在り方検討(	よど)
東業効用を上げてための東致功美の投計	坐が田も レバスたい	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

工尹				. <del></del> //ピノノ /			11.7	w 24/10	13 140	0, 12011	
事業名	地籍調査	事業		実施計画事業or一般事業	実施語	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
L. 基本情		都市建設部		予算中事業名		会計		中类計画	単年度組	温りた	
⊒当組織		都市整備課			予算			事業計画 新規or継続	継続		
		用地係		地籍調査事業		項	1	市単独or国県補助		補助事業	
	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的	事業	
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	国土調査法		開始年度	H26	実施方法	一部	委託	
	政策		都市機能の充実したまちづくり	国土阙 <u>自</u> 丛 国土調査事業十箇年計画 -	期間	終了年度		事業分類	検査・調	查事務	
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業	<b>美概要</b>	るび(基本計	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進 ・画期間内)目標値 問査法に基づき国が推進している事業で、均	 	<u></u> - こ、一筆	ごとに土地の	の所有者、は	 地番及び地	 辿目の調査を	を行い、境	
			で、面積を算出し、地籍図と地籍簿を作成での手続きを経て登記所に送付され、地図や								
(2)目的	<b>ត</b>			(3)目標値							
(2) =	<u>-</u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7	
目的			ば、地番及び地目の調査を行い、境界の位	,	km³	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	
(本事業に 置を測量する。それに基づき面積を算出し、地籍図と地籍簿を作成 よって成し ナスストス・ナーウムせの地窓がよりです。 カップスナ は窓 ナス											
遂げたい	することで、「	市内全域の地	也籍などのデータベースを構築する。								
状態)	i										
<b>3. 前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	<u></u> タ及て	「事業費の	推移				
	1			活動指標	単位	R3	R4	R5			
	・植下IV・植野 II 地区の一筆地調査を実施し、地籍簿(案)及び 地籍図(案)を作成した。			地籍調査事業一筆地調査実施面積(年単位)	kmi	0.19	0.18	0.17			
うた主な活動内容)			地籍簿及び地籍図の閲覧を行い、認証	事業費計	千円	19,906	26,889	26,386	ĺ		
±// 10 /	中雨に回び	た準備を行っ	//Co	一般財源	千円	6,487	8,352	8,218			
	ı			特定財源(国・県・他)	千円	13,419	18,537	18,168	ľ		
	ı			(うち受益者負担)	千円	, 0	, 0	,			
(-) \											
(3) 活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	タの推移 R3	R4	R5	→選択して 指標の性質		
				划未拍标 地籍調査事業実施面積(累計)	单位 kmi	1.34	1.52	_	34131 - 1430	効果が上がった	
効果説明			計画事業を進めている。 最終の世界が八世東世界早間の問念祭不	- 日和明旦于宋八旭山共(八日)	Tun	1101	1.52	1.03			
(定量及び 定性)		<del>事</del> 乗での測す ようになってい	最等の成果が公共事業や民間の開発等で る								
~11)	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	<b>ふりになり (い</b>	٥٠								
								<u> </u>			
		果(自動判定		•					1	ı	
	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断			******	効果	*************	i	
劝未	効果が上が効果は変われ	つに指信数 らない指標数	1指標 0指標	ľ	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	İ	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し				i	
(1) 令和		<b>彰討</b> 事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見		対効果	向上のため					
十画面積に	:なる様に予: 	算編成を行っ	たが、国、県からの交付額はほぼ横ばいであ	うったかことから、調査を実施した。 	面積はf	前年度の面	積とほぼ変	わらなかった	<u> </u>		
(2) 上訂	3反省点及7	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		İ						
	市業のたり	±₩₩ /÷·		取組説明							
	事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	こ、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討	「佐野市地籍調査事業基本計 交付金確保に努める。	†画」に碁	基づいた計[	画面積を達	!成できる様	に引き続き	予算及び	

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成·更新日 令和6年8月6日

事業名	屋外広告	<b>-</b> 物指導事	務	実施計画事業or一般事業	— <u></u> f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		±/7- <del>1-</del> 7- <b>‡</b> =0.±/7		<b>又然上事业</b> 5		Λ=I	φn.	<b>=</b> #=1-	光左座	A POSE
	部	都市建設部都市計画課		予算中事業名	予算	会計		事業計画	単年度: 継続	
担当組織	課 係	計画係		屋外広告物指導事務費		<u>款</u> 項	_	新規or継続 市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	531	名称	根拠法令、条例等	171	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直	
政策体系	政策		都市機能の充実したまちづくり	屋外広告物法		終了年度	1121	事業分類		審査事務
	施策		都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進	栃木県屋外広告物条例		11 T T	ļ	チネガス	2120 J	1111
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値         (1)事業概要										
事業概要	・栃木県屋外広告物条例に基づく許可のための審査事務 ・許可申請書の審査を行い、申請手数料納付確認後に許可証と許可の証票(許可シール)を交付する。 ・違反広告物(大型看板)の調査と是正指導を行う。 ・違反広告物の簡易除却を警察、道路管理者(県・市)、関連企業(東電・NTT)と協力して実施する。									
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	  屋外広告物	が法及び栃木	県屋外広告物条例に基づき、良好な景	屋外広告物許可申請件数	件	200	220	220	220	220
よって成し			及び公衆に対する危害の防止のため、屋外							
遂げたい	広告物の表	示方法や立	地条件を審査し、許可する。							
状態)										
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	タ及び 単位	「事業費の R3	推移 R4	R5		
	±€+830 <i>/</i> #	- 市虻150//	+ 杰克40世の武司中華も加理した	屋外広告物許可済件数	件	243	221	237		
マモ! ウルキ			‡、変更40件の許可申請を処理した。 「投所周辺のはり紙、はり札、広告旗及び	違反広告物指導回数		0	4	8		
活動実績			ール活動を実施した。(令和6年1月11							
行った主な活				事業費計	千円	9	32	0		
動内容)	・令和5年4 に指導を行	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	告物調査を実施し、設置者及び広告業者	一般財源	千円	0	0	0		
	に拍待で1」	)ICo		特定財源(国・県・他)	千円	9	32	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(つ) 江垂	いによる効果			 (4)事業効果を説明する数	が高ご	カル・サンタ	<u> </u>	<u> </u>	\怨to   7	下さい
(3)心里	この必然			(4) 事業効果を説明9る数効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	-
				屋外広告物許可申請件数	件	243	221	237		効果が上がった
効果説明	・屋外広告	物許可件数	が増加した。							
(定量及び 定性)										
72.12)										
		果(自動判定	Ē)	•			_			
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わ	つに指信数 らない指標数	1指標 0指標	[	弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		費 用	費用の増減無し	0			
Japaneramy)		指標全体	効果が上がった	l	/13	費用が増加した				
	<b>度に向けた検</b> ①5年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果[	句上のための	の課題			
・許可の必	要性の浸透	を図り、違反の	広告物に対する認識について意識改革を図	る必要がある。						
(2) 上記	7. 记录	<b>が課題を踏ま</b>	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							

取組説明

・違反広告物等の適正な是正指導に努める。

業務時間効率化のための事務改善の検討特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

作成•更新日 令和6年8月6日

# 事業名景観啓発推進事業実施計画事業or一般事業一般事業市長公約該当なし総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当なしコンパクトシティ該当なしスマートシティ該当なし

### 1. 基本情報

		部	都市建設部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織		課	都市計画課		屋外広告物指導事務費	予算	款	8	新規or継続	継続事業
		係	計画係		度/7/公口初间等事份負 		項	4	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード		名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市計画法、景観法、佐野市		開始年度	H16	実施方法	直営
	以來冲示	政策	3	利市機能の安宝したまちつ(り			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
		施策	1		例					

### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

- ・佐野市水と緑と万葉のまち景観計画及び景観条例に基づき、良好な景観形成を推進する。
- ・水と緑と万葉のまち景観賞表彰事業を実施する。

事業概要

- ・市民の景観形成に対する意識の高揚を図るため、景観講演会を開催する。
- ・景観計画区域内における行為の届出書を受付し、審査する。
- ・地区計画の決定に基づく届出書を受付し、審査する。

(2) 日的

(3)目標値

(	(2) 田町	y	(3)日信旭						
目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)		・景観計画及び景観条例に基づき、良好な景観形成を図るととも	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		に、市民の景観に対する関心を高め、景観を守り育てていく環境を	景観講演会の参加者数	人	_	50	55	60	65
		醸成する。	届出対象行為の届出件数	件	25	25	50	55	60
		・都市景観の形成、歴史、文化の創造及び建築水準の向上等に	地区計画の届出件数	件	35	35	35	35	35
	状態)	寄与すると認められ、特にデザインに優れていると思われる建築物等							
	ŕ	やまちなみ及びまちづくり活動を表彰する。							

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

### (1)活動実績

### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に	計画の届出を受付し、審査・指導を行った。 ・景観審議会を3回開催した。 (第28回:5/22、第29回:11/14、第30回:11/20) ・第10回水と緑と万葉のまち暑観賞を開催し、魅力ある都市暑観	活動指標	単位	R3	R4	R5
		講演会開催回数		0	1	1
		景観賞応募件数	件	15	18	12
		事業費計	千円	1,413	394	348
		一般財源	千円	1,413	394	348
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

							*		
(完量及7%	・景観講演会の参加者数が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
		景観講演会の参加者数	人	0	50	55	値が大きいほど良い	効果が上がった	
		届出対象行為の届出件数	件	23	13	62	値が大きいほど良い	効果が上がった	
		地区計画の届出件数	件	34	20	12	値が大きいほど良い	効果が下がった	

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し		
効果	効果が上がった指標数	2指標		
メリス (R5とR4の 指標値増減)	効果は変わらない指標数	0指標		
	効果が下がった指標数	1指標		
	指標全体	効果が上がった		

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった						
	費用の増減無し	0					
用	費用が増加した						

### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・近年、水と緑と万葉のまち景観賞の応募件数が減少傾向にある。

# (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

ど)
. {

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・第28回景観審議会において審議の結果、景観賞の募集期間を1年間に延長することで応募件数の上積みを目指すこととにした。これに伴い、表彰は隔年で実施するものとする。

### 什事の振り返り (今和广左帝宁佐公)

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

工事	りがで	ルベリン	ノート(令和5年段	关地分)			作	灭・史新日	2024年	₹7月29日
事業名	小さな拠点づくり推進事業			実施計画事業or一般事業			市長公約		総合戦略	
· ======	<b>+</b> ±0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当あり
L. 基本情	<b>青報</b>   部   総合政策部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	給いたこ	
3当組織	課	政策調整課			予算			新規or継続	継続	
	係	地域活性化		小さな拠点づくり推進事業		項	1	市単独or国県補助	国県補	
内策体系	体系コード	531		根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意的	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			開始年度	R3	実施方法	古営 直営	
	政策 3		都市機能の充実したまちづくり	- 地域再生計画、栃木県「小さな拠 - 点」づくり促進事業実施要網	期間	終了年度	_	事業分類	計画策定·	·管理事業
	施策	1	都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進	- 点」ハグル選手来 <del>人</del> 加安啊						
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業		及び(基本計	一画期間内)目標値							
F業概要			想に基づき、中山間地域(都市計画区域 どにワークショップを実施し、地区の特性を生		に向け	た検討を行	う。年齢別	人口構成訓	音や集落	調査(ア
(2)目的	<mark></mark>			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		ポッタ 地区 (	(三好地区、野上地区、新合地区、飛駒	話合いや取組みを始めた地区数(延べ)	地区	1	3	4	5	6
( <del>************************************</del>			、三灯心区、野工心区、新石心区、飛舸 也区)の課題解決に向けた話合いや取組							
	みを開始す		66万の赤庭が人に同りた品白いで収益							
状態)	o, china	<b>U</b> 0								
									<u> </u>	<u> </u>
2 前年度	まの宝績(注	壬動及が費日	月対効果)説明							
<b>(1)活動</b> (1)活動		山地人(吳川	3737/A/ D073	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の排	<b>作移</b>			
		U.A. (194		活動指標	単位	R3	R4	R5		
									}	
				調査日数	日	10	6	3		
<b>イチ! ウ/</b> 走										
舌動実績 R5年度に			申請及び事前協議							
かた主な活	・6月	県補助金玄		事業費計	千円	0	6	8	Ì	
動内容)	・6~1月 常盤地区でワークショップを実施 (3回)			3 3/43 421		0			•	
				一般財源	千円		1	2		
				特定財源(国·県·他)	千円		5	6		
				(うち受益者負担)	千円					
									i	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数		1	5.4	5-	↓選択して	
	R5は1地区(常盤地区)で話合いが始まり、次年度につながるJ			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明		話合いや取組みを始めた地区数(延べ)	地区	1	4	5	値が大きいほど良い	効果が上がった		
(定量及び	組みとなった。									
定性)	門口がてなりた。									
(г) 弗口	D >+ >h EE	田 /白新州5	÷)					•		
	H対効素福息 とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	費用の増減無し	** 1 0 万円以上の増減により判断				効果		1
	効果が上が		1指標	※ 1 07月 15久上の増加点により刊画			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わらない指標数 0指標			費	費用は下がった					
(RSCR40) 旨標値増減)	効果が下が	いた指標数 指標全体				費用の増減無し	0			-
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 次年度以降の方針も決定することができた。				)課題			
(2) ! =	75/4 57 5	· V=m B조 수 마···	=+							
(2) 上訂	では できる こと こと こと こく こく こく こく こく こく こく こく こく こく こく こく こく	♪課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	pn ¢o ≘∺no						
	事業の左り	方給計 /鹵山	こ、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
			-、作正、冉編成、文益有負担の見直Uなど) 事務改善の検討		L., —			1445	\ <del>+</del> #++1 —:	

すぐに結果がでる事業ではないため、長い目で地区や活動団体を支援や連携をしていきたい。こ

の方針を踏まえ、現状維持とした。